土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　第24-016-021-152号　産学官連携施設地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	R6BP-1	**調査位置**	浪江町大字権現堂字北深町　地内			**北緯**	37° 29′ 40.30″
発注機関	浪江町役場			**調査期間**	2025年　2月　12日 ～ 2025年　2月　26日	**東経**	140° 59′ 33.86″
調査業者名	庄建技術株式会社 **電話** 0244-22-6868	**主任技師**	紺野雅弘 地質調査技士 登録番号: 第13180号	**現場代理人**	紺野雅弘 地質調査技士 登録番号: 第13180号	**コア鑑定者**	紺野雅弘 地質調査技士 登録番号: 第13180号
孔口標高	T.P. 9.96m	**角度**	180°　上 90°　下 0°　0°	**方位**	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	**地盤勾配**	水平 0°　鉛直 90°　0°
総削孔長	28.30m	**使用機種**	**試錐機** 鉱研OP-1型	**エンジン**	ヤンマーNFAD8型	**ポンプ**	鉱研MG-5h型

ボーリング責任者　木立匡哉　地質調査技士 登録番号: 第20650号

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	9.46	0.50		盛土(砂)		褐～褐灰	rd2			砂質土層。含水比は低い。上部に植根や植物片を混入。φ5～10mm程度の亜円礫を若干混入。
1	8.46	1.50		砂混じりシルト		黒灰～暗灰		rc1		粘性土層。含水比は低い。砂分を層状に混入。
2				有機質シルト		褐灰～黒灰		rc1		粘性土層。含水比は低い。所々、腐植物片を混入。水位(2/13作業中)2.40m(掘進3.00m、ケーシングなし)
3	6.71	3.25		シルト混じり砂		灰	rd2			砂質土層。含水比は高い。所々、φ2～3mm程度の礫を若干混入。
4	6.16	3.80		砂混じりシルト		黒灰		rc1		粘性土層。含水比は中程度。砂分は層状に混入。
5	3.96	6.00		砂		灰	rd2			砂質土層。含水比は高い。砂分は細砂～粗砂を不均一に混入。
6	3.51	6.45		砂混じりシルト		黒灰		rc1		粘性土層。含水比は中程度。砂分は層状に混入。
7	2.96	7.00		シルト混じり砂		灰～暗灰	rd3			砂質土層。含水比は高い。シルト分は層状に混入し、砂分は細砂～粗砂を不均一に混入。
8	2.06	7.90		礫混じり砂		灰	rd3			砂質土層。含水比は高い。礫分はφ2～10mmの亜角～亜円礫を混入。砂分は細砂～粗砂を不均一に混入する。所々、シルト分を不均一に混入。水位(2/14作業前)0.60m(掘進7.00m、ケーシング7.00m)
9										
10	-0.79	10.75								
11	-1.49	11.45		砂質シルト		黒灰		rc2		粘性土層。含水比は中程度。砂分は細砂を不均一に混入。
12				シルト混じり砂		灰～黒灰	rd3			砂質土層。含水比は高い。砂分は粗砂～細砂を不均一に混入。所々、φ2～3mmの亜円礫を混入する。シルト分は層状に混入。水位(2/17作業前)2.80m(掘進12.00m、ケーシング11.00m)
13	-3.69	13.65								
14	-4.49	14.45		シルト		黒灰		rc3		粘性土層。含水比は中程度。下部、所々、細砂を混入。
15	-5.69	15.65		砂		暗灰～灰	rd3			砂質土層。含水比は高い。砂分は細砂～粗砂を不均一に混入。所々、φ2～3mmの亜円礫を混入。
16	-6.89	16.85		シルト混じり砂		暗灰	rd2			砂質土層。含水比は中～高い。砂分は細砂主体。シルト分は層状に混入。
17				礫混じり砂		灰	rd3			砂質土層。含水比は高い。砂分は細砂～粗砂を混入する。礫分はφ2～5mmの亜角～亜円礫を混入。水位(2/18作業前)2.85m(掘進16.45m、ケーシング16.00m)
18										
19	-8.39	19.35								
20				シルト混じり砂		黒灰	rd2			砂質土層。含水比は中～高い。シルト分は均一に混入。砂分は細砂主体。
21	-11.49	21.45								
22	-12.89	22.85		礫混じり砂		暗灰	rd3			砂質土層。含水比は高い。砂分は細砂～粗砂を混入する。礫分は2～10mmの亜角～亜円礫を混入。水位(2/19作業前)4.40m(掘進21.45m、ケーシング21.00m)
23				泥岩		暗緑灰		rc5		固結度良好な軟岩。コアは5～50cmの棒状コアにて採取され、打撃にて容易に岩片状に砕ける。細砂分を均一に混入する砂質状の軟岩。水位(2/20作業前)4.30m(掘進26.29m、ケーシング23.00m)
24										
25										
26										
27										
28	-18.34	28.30								
29										

孔内水位／測定月日：2/13 作業中、2/14 作業前

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1	1	1	3/350		
	1.50		150				
2	2.15	1	1		2/350		
		200	150				
4	2.50	0	1	3	4/300		
	3.15						
2	3.45	1	1		2/350		
	4.15	200	150				
4	4.50	1	1	2	4/300		
	5.15						
9	5.45	2	3	4	9/300		
	6.15						
16	6.45	5	5	6	16/300		
	7.15						
25	7.45	8	8	9	25/300		
	8.15						
27	8.45	8	9	10	27/300		
	9.15						
23	9.45	6	8	9	23/300		
	10.15						
4	10.45	1	1	2	4/300		
	11.15						
11	11.45	2	4	5	11/300		
	12.15						
22	12.45	8	8	6	22/300		
	13.15						
5	13.45	1	2	2	5/300		
	14.15						
19	14.45	7	6	6	19/300		
	15.15						
7	15.45	2	2	3	7/300		
	16.15						
24	16.45	8	8	8	24/300		
	17.15						
28	17.45	9	9	10	28/300		
	18.15						
9	18.45	4	3	2	9/300		
	19.15						
7	19.45	3	2	2	7/300		
	20.15						
10	20.45	2	4	4	10/300		
	21.15						
15	21.45	5	5	5	15/300		
	22.15						
100	22.45	30	20		50/150	150	
	23.15		50				
94	23.30	25	25		50/160	160	
	24.15		60				
83	24.31	21	29		50/180	180	
	25.15		80				
107	25.33	32	18		50/140	140	
	26.15		40				
83	26.29	22	28		50/180	180	
	27.15		80				
100	27.33	28	22		50/150	150	
	28.15		50				
	28.30						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
				孔内水平載荷試験 2.10～2.70 E=1.62MN/m2	
3.25～3.45	BP-1	⊖	粒度試験		
6.15～6.45	BP-2	⊖	粒度試験		2/13
12.15～12.45	BP-3	⊖	粒度試験		2/14
16.15～16.45	BP-4	⊖	粒度試験		2/17
19.15～19.35	BP-5	⊖	粒度試験		2/18
20.15～20.45	BO-6	⊖	粒度試験		
24.30～24.70	BP-7	⊕	圧縮試験		2/19
					2/20